

第 38 回日本 Shock 学会学術集会 プログラム

2024 年 4 月 12 日 (金)

第 2 会場 (ROOM K)

16 : 45~17 : 45 イブニングセミナー

「敗血症性ショックの病態生理学的進展」

演者：松田 直之 (名古屋大学医学系研究科救急・集中治療医学分野)

司会：佐々木淳一 (慶應義塾大学医学部救急医学)

共催：日本光電工業株式会社 東京支社

2024 年 4 月 13 日 (土)

第 1 会場 (ROOM G)

8 : 50~8 : 55 開会の辞

9 : 00~10 : 40 シンポジウム 1

「ショックと臓器保護を極める」

司会：矢口 有乃 (東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部)

関根 秀介 (東京医科大学麻酔科学分野)

S1-1. 敗血症の脳障害：どのように対策するのか？

香川大学医学部救急災害医学 黒田 泰弘

S1-2. 心原性ショックと Impella による臓器保護

日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科 中田 淳 ほか 10 名

S1-3. 外傷性ショックと臓器保護—damage control resuscitation を中心とした考え方

東京医科大学救急・災害医学分野 本間 宙

S1-4. 膜型人工肺 (ECMO) と臓器保護—敗血症性ショックの治療に ECMO は有効か

東京医科大学麻酔科学分野 関根 秀介

11 : 00~12 : 00 特別講演 1

「難治性疾患に対する細胞療法の進歩～ステミラック注の治療からみえること～

演者：佐々木祐典 (札幌医科大学医学部附属再生医学研究所神経再生医療学部門)

司会：木下 学 (防衛医科大学校免疫微生物学)

共催：ニプロ株式会社

12 : 15~13 : 15 ランチョンセミナー 1

「Coronavirus disease (COVID-19) の今—敗血症性 DIC の病態をふまえて—」

演者：関根 秀介 (東京医科大学麻酔科学分野)

司会：西田 修 (藤田医科大学麻酔・侵襲制御医学講座)

共催：旭化成ファーマ株式会社

13:30~14:00 会員総会

14:10~15:10 特別講演2

「Blood cell respiration — a suitable systemic marker to monitor mitochondrial function and predict mortality during sepsis?」(web)

演者: Eskil Elmér (Mitochondrial Medicine, Department of Clinical Sciences, Lund University, Lund, Sweden)

司会: 相引 眞幸 (八王子山王病院救急科)

共催: ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社

15:20~16:20 特別講演3

「敗血症関連脳障害における脳循環代謝機能」

演者: 黒田 泰弘 (香川大学医学部救急災害医学)

司会: 志賀 英敏 (帝京大学ちば総合医療センター救急集中治療センター)

16:20~16:30 閉会の辞

第2会場 (ROOM K)

9:00~9:40 会長賞選考演題1「基礎」

司会: 西田 修 (藤田医科大学麻酔・侵襲制御医学講座)

相引 眞幸 (八王子山王病院救急科)

選考委員: 木下 学 (防衛医科大学校免疫微生物学)

内野 博之 (東京医科大学麻酔科学分野)

西田 修 (藤田医科大学麻酔・侵襲制御医学講座)

相引 眞幸 (八王子山王病院救急科)

1-1. LPS プレコンディショニングの炎症反応抑制と殺菌能増強は MyD88 依存性、非依存性の異なる細胞内シグナル経路が関与する

防衛医科大学校国際感染症学講座 小野 岳史 ほか 6名

1-2. マウス致死性腹膜炎感染巣処置後モデルにおける病態の検討

防衛医科大学校免疫・微生物学講座 加藤 梓 ほか 8名

1-3. 敗血症後の脳内における IL-17 および $\gamma\delta$ T 細胞の増加がマウスの不安様行動の増悪に関与する

兵庫県立はりま姫路総合医療センター 森山 直紀 ほか 3名

9:50~10:40 会長賞選考演題2「臨床」

司会: 小野 聡 (新久喜総合病院消化器センター)

射場 敏明 (順天堂大学救急・災害医学)

選考委員: 木下 学 (防衛医科大学校免疫微生物学)

内野 博之 (東京医科大学麻酔科学分野)

小野 聡 (新久喜総合病院消化器センター)

射場 敏明 (順天堂大学救急・災害医学)

2-1. 術前画像所見による急性虫垂炎の治療方針の検討

日本医科大学付属病院消化器外科 香中伸太郎 ほか 8名

2-2. 救命救急センター入室患者の骨格筋障害の予測における組織酸素飽和度評価の有効性

近畿大学病院リハビリテーション部 杉谷 竜司 ほか 7名

2-3. 当院におけるIMPELLAを用いた心原性ショックの治療成績—単施設後ろ向き観察研究—

横須賀市立うわまち病院総合診療センター集中治療部 内倉 淑男 ほか 6名

2-4. 緊急手術における治療成績から女性外科医のDE&Iを考える

日本医科大学武蔵小杉病院消化器外科 関口久美子 ほか 6名

11:00~12:00 招請講演

「難治性呼吸器感染症の病態解明と新規治療法の開発」

演者：中村 茂樹 (東京医科大学微生物学分野)

司会：村尾 佳則 (八尾徳洲会総合病院救急センター)

12:15~13:15 ランチョンセミナー2

「心原性ショック治療における脳循環代謝モニタリングの必要性」

演者：横堀 將司 (日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野)

司会：池田 寿昭 (東京医科大学八王子医療センター)

共催：マシモジャパン株式会社

14:10~16:10 シンポジウム2

「敗血症治療最前線」

司会：藤谷 茂樹 (聖マリアンナ医科大学救急医学)

若林 健二 (東京医科歯科大学集中治療部)

S2-1. 敗血症の最前線

聖マリアンナ医科大学救急医学 藤谷 茂樹

S2-2. 敗血症性ショックの循環動態からの治療戦略

横浜市立大学附属病院集中治療部 中村 謙介

S2-3. 敗血症性ショックの循環動態からの治療戦略-2~昇圧剤の適正使用とは~

千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 大網 毅彦 ほか 2名

S2-4. 敗血症サブクラス分類による治療戦略：抗凝固薬による治療の可能性

東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野 工藤 大介 ほか 1名

S2-5. 呼吸循環相互作用から考える PEEP の最適化

東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療部門 則末 泰博

第3会場 (ROOM H)

9:00~10:10 一般演題1「優秀演題セッション」

司会：井上 茂亮（和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座）

土井 研人（東京大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学）

- 1-1. 心臓血管外科手術におけるプロタミン投与により難治性ショックをきたした1症例
群馬県立心臓血管センター麻酔科 金本 匡史 ほか 9名
- 1-2. 急性大動脈解離術中に発症した左冠動脈解離に Central ECMO が有効であった1例
群馬県立心臓血管センター心臓血管外科 森下 寛之 ほか 9名
- 1-3. 感染性心内膜炎術後敗血症性ショックにエンドトキシン吸着療法が有効であった1例
群馬県立心臓血管センター心臓血管外科 早田 隆司 ほか 9名
- 1-4. カテーテルアブレーションに合併した心タンポナーデに対して緊急手術を施行した1例
群馬県立心臓血管センター心臓血管外科 岡田 修一 ほか 9名
- 1-5. 急性大動脈弁逆流によりショック状態に陥った開心術後症例の検討
群馬県立心臓血管センター心臓血管外科 岡田 修一 ほか 9名
- 1-6. 甲状腺クリーゼによる心停止に対し血漿交換と VA-ECMO で救命しえた1例
長崎大学大学院麻酔集中治療医学分野 荒木 寛 ほか 1名
- 1-7. HIF (Hypoxic-Inducible Factor) 加水分解阻害薬による中枢性甲状腺機能低下から粘液水腫を発症した1例
東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部 蒲原 英伸 ほか 2名

10:20~11:10 一般演題2「敗血症」

司会：阪本雄一郎（佐賀大学救急医学講座）

中村 智之（藤田医科大学）

- 2-1. 新たなエンドトキシン測定法による PMX-DHP 施行症例におけるエンドトキシン値の推移
岩手医科大学医学部救急・災害医学講座 高橋 学
- 2-2. 敗血症患者に対する血球細胞除去用浄化器「アダカラム[®]」の使用経験
岩手医科大学医学部救急・災害医学講座 高橋 学
- 2-3. 壊死性筋膜炎から敗血症性ショックに至った患者の大腿切断術の麻酔管理にレミマゾラムを使用した1症例
昭和大学医学部麻酔科学講座 岡崎 晴子 ほか 4名
- 2-4. 劇症型溶血性レンサ球菌肺炎による敗血症性ショックの1例
東京大学医学部附属病院救急・集中治療科 永井 和志 ほか 5名
- 2-5. 当院における敗血症によって緊急入室した患者重症度の時間帯による比較
東京医科大学病院集中治療部 齊木 巖

14:10~15:20 一般演題3「ショック、循環、治療法」

司会：富野美紀子（東京医科大学八王子医療センター麻酔科）

松田 明久（日本医科大学消化器外科）

- 3-1. 乳頭筋断裂を伴う急性発症の僧帽弁閉鎖不全症に対し IMPELLA[®] による循環補助下に

救命した1症例

- | | | | | |
|------|---|-------|----|----|
| | 東京医科大学八王子医療センター麻酔科 | 富野美紀子 | ほか | 5名 |
| 3-2. | 体位変換によりショックとなった外傷性血胸の1症例 | | | |
| | 医誠会国際総合病院麻酔科 | 末吉 俊貴 | ほか | 1名 |
| 3-3. | 一酸化炭素 (CO) 中毒の新しい治療法について | | | |
| | 聖マリアンナ医科大学救急医学 | 平 泰彦 | ほか | 3名 |
| 3-4. | ヒドロコルチゾン投与による誘発が疑われたアナフィラキシーショックの1例 | | | |
| | 東京医科大学八王子医療センター麻酔科 | 奥山 亮介 | ほか | 5名 |
| 3-5. | 練炭自殺未遂後に急激に進行した呼吸不全に対してVV-ECMOを用いて救命した1症例 | | | |
| | 藤田医科大学麻酔・侵襲制御医学講座 | 栗山 直英 | ほか | 9名 |
| 3-6. | 総肝動脈からの出血性ショックに対し、METによる早期介入と大動脈内バルーン遮断併用下緊急開腹止血術で救命できた1例 | | | |
| | 札幌医科大学医学部集中治療医学 | 赤塚 正幸 | ほか | 2名 |
| 3-7. | REBOAによって両側下肢運動障害をきたしたと考えられた外傷患者の1例 | | | |
| | 福岡大学病院救命救急センター | 泉谷 義人 | ほか | 5名 |